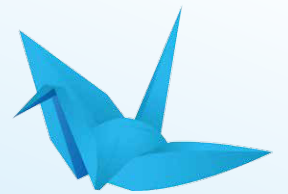




第15回 伊賀市非核平和推進 中学生広島派遣団レポート



市内の各中学校の代表として、生徒10人を8月5日から2日間、広島市へ派遣しました。

参加した生徒は、それぞれの学校の生徒一人ひとりが平和への祈りを込めて折った折り鶴を、原爆の子の像へ捧げました。また、平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学、被爆体験講話の聞き取りなどを通じて、74年前に起きた人類史上最初の原子爆弾による悲惨な現実を見て、聞いて、肌で感じて、非核平和への思いを新たにしました。

その思いを生徒のレポートからお伝えします。



《行程表》

1日目

- 被爆体験講話聞き取り
- 爆心地・原爆ドーム見学
- 折り鶴献納
- 平和記念資料館見学

2日目

- 平和記念式典参列
- 広島市立本川小学校資料館見学

被爆体験講話

17歳のとき、爆心地から約6km離れた金輪島で被爆した、江種祐司さんからお話を伺いました。

◆柘植中学校 柘植 愛花

江種さんのお話を聴き、今自分たちが学校へ行って勉強できることは当たり前のことではないと気付きました。だから今の環境に感謝して授業を受けるようにしたいです。今回聞いたことを全校のみんなに伝えていきたいと思っています。



◆城東中学校 西岡 奏太

被爆者の江種さんからお話を聴いて、核兵器は世界中にあつて、それが人類を全滅させることができると思いました。だから「核兵器廃絶」を伝えていって、世界中で戦争や核兵器で悲しむ人を無くすようにしたいです。



原爆ドーム

原爆の惨禍を伝え、核廃絶と人類の平和を求める誓いのシンボルである原爆ドームを見学しました。

◆青山中学校 稲森 帆風

緑豊かな中、痛々しくたたずむ原爆ドームは、74年の時間を超えて「たった一発の原子爆弾がもたらした惨劇を絶対に忘れてはいけない」と訴えかけてきます。この場所に来て感じられたことをみんなにも伝えたいと思います。

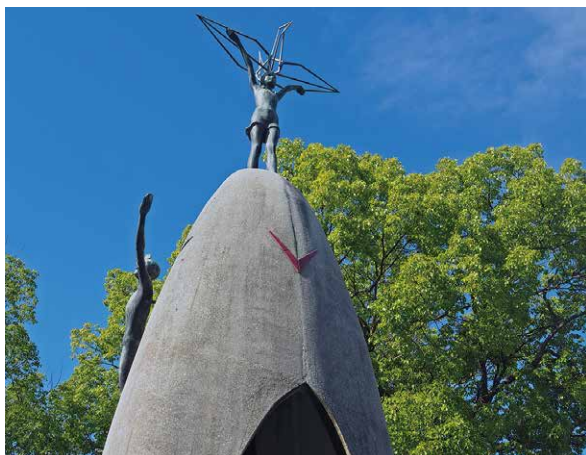


原爆の子の像

市内の中学生一人ひとりが折った
折り鶴を捧げました。

◆崇広中学校 大仲 真三人

原爆の子の像に全国・全世界から捧げられた一羽一羽の折り鶴には、平和への願いが込められていると強く感じました。折り鶴を通して全世界に核兵器の恐ろしさを発信し、非核平和について考えていかなければならないと感じました。



たくさんの折り鶴があり、平和を願っている人がこんなにもいるのだと思いました。(生徒談)

平和記念資料館

原爆による惨状を示す写真や資料などの見学を行いました。

◆上野南中学校 今天 智陽

平和記念資料館には、原子爆弾に関する実際の写真が展示されていました。その写真は、本当にあったことなのかと疑うほど衝撃的なものでした。たくさんの資料を見ていく中で、原子爆弾の恐ろしさを改めて感じました。

◆阿山中学校 中尾 美咲

平和記念資料館には折れ曲がった鉄骨など、原爆の威力を物語る展示物が多くあり、思わず目を背けたくなりました。しかし、私はこの事実を受け止め、戦争の悲惨さ、平和の大切さを家族や友達に伝えていきます。



平和記念式典

平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）に参列しました。

◆大山田中学校 中 愛羅

平和記念式典では平和を願うヒロシマの心を強く感じました。『悲惨な過去』を『悲惨な過去』のままにしないように身近なところから平和の大切さについて伝えていき、その輪をどんどん広げていければと思います。



◆島ヶ原中学校 町井 志帆

式典で聞いた、小学生の平和への誓いが心に残っています。その言葉を聞き、自分にも平和のためにできることがあると気付きました。これからは、今回広島で学んだことをみんなに伝え、平和について考え、行動していこうと思います。



広島市立本川小学校

約400人の子どもたちの尊い生命が一瞬のうちに奪われた爆心地に最も近い学校である本川小学校の平和資料館を見学しました。

◆霊峰中学校 澤村 すず

本川小学校は爆心地に最も近く、今は校舎の一部が資料館として残っています。そこで溶けたガラスびんを見て、こんなに熱かったのだと怖くなりました。原爆投下から74年経った今、戦争の記憶を風化させてはいけなくと改めて強く思いました。



◆緑ヶ丘中学校 中村 修人

私は本川小学校に行つて、戦争が終わっても授業が受けられなかったことを聞いて驚きました。私たちが、今自由に生活できていることに感謝して生活したいです。多くの子どもや大人の命を奪つ、戦争は二度としてははいけないと思いました。

